

主な内容

2面 ■ 震災でも外れなかった「耐震継手管」
■ ご家庭でできる災害対策

3面 ■ お客さま意識調査・事業所調査の結果
■ 宅地内老朽給水管の取替えのすすめ
■ 水道100歳時代

4面 ■ プレゼントコーナー

水道管には様々な種類や大きさがあります。家庭のじゃ口につながる水道管は25mm程の口径ですが、県営水道では最大180cmと大人が立って歩ける程の大きな水道管を管理しています。管理している水道管の総延長は9,200kmにも及び、これは直線距離にすると横浜からアメリカのグランドキャニオンにまで届く程の長さになります。

もっともっと 地震に強い 県営水道へ

いつも、いつまでも、
安心の水をお届けするために
水道管のリニューアルを
進めています。

最大口径
180
cm

神奈川の水守り人

水道施設課
管路整備センター

み らいのために、いまできることを、1歩ずつ。そんな思いで、県営水道は水道管のリニューアルを進めています。

求められるのは、高い耐震性、長寿命…すべては安心安全で良質な水をいつでもお届けするために必要なこと。

災害時にも「あたりまえ」のようにじゃ口から水が出る、そのために県営水道は経営計画で目標を定め、水道施設の耐震化に取り組んでいます。今号では、大口径水道管の耐震化にスポットをあて、工法や効果についてご紹介します。

災害時の拠点になる場所への水道管の耐震化を優先しています

浄水場で作られた水道水は、一旦配水池に貯められて、各家庭に送られ

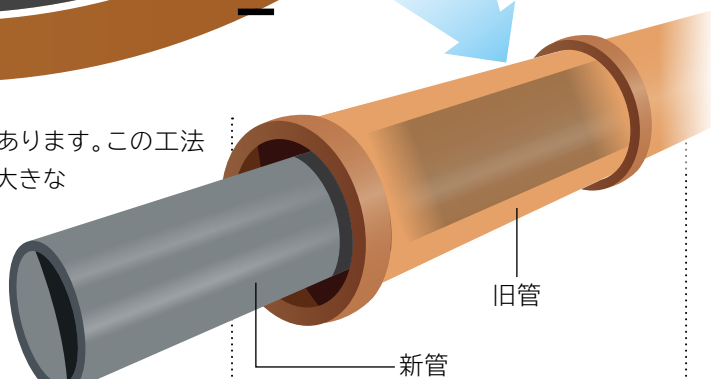
ます。水道管の耐震化を進めるにあたり、優先順位を決めて工事を行っています。最も優先しているのは、県営水道給水区域内に9か所ある災害拠点病院につながる水道管で、平成30年度(2018)までに耐震化の完了を目指しています。さらに、浄水場と配水池をつなぐ基幹的な水道管についても配水池までの水道水の送水が止まってしまうと、広範囲にわたって断水被害をもたらすため、病院と並んで優先的に工事を行っています。

「旧管」の中に「新管」！特別な工法

水道管の具体的な交換方法として皆さんがイメージするのは道路を掘り返して交換する方法だと思えますが、それとは違う「パイプインパイプ工

法」という方法があります。この工法の特徴は、口径の大きな水道管の更新の際に、古い管を残したままその中に一回り小さな管を入れてしまうという点にあります。

交換したい箇所の近くに縦穴を掘り、古い管の中に新しい管を挿し込んでいきます。そして作業員が管の中



に入り接合し、古い管と新しい管のすきまに特殊なコンクリートを流し込みます。

この工法では、道路に既設埋設物が多く、新たな敷設スペースが無い場所であっても少ない掘削箇所です工事が進められ、交通量の多いところでも短い期間で水道管を交換できます。一方で、人が中に入って作業をするため、古い管を断水させなければならないことから、水道水の送水ルートを変更するなどの対応をする必要があります。



企業庁のホームページ

神奈川 企業庁

検索



神奈川県モバイルサイト「かなぼけっと」神奈川県営水道のページ

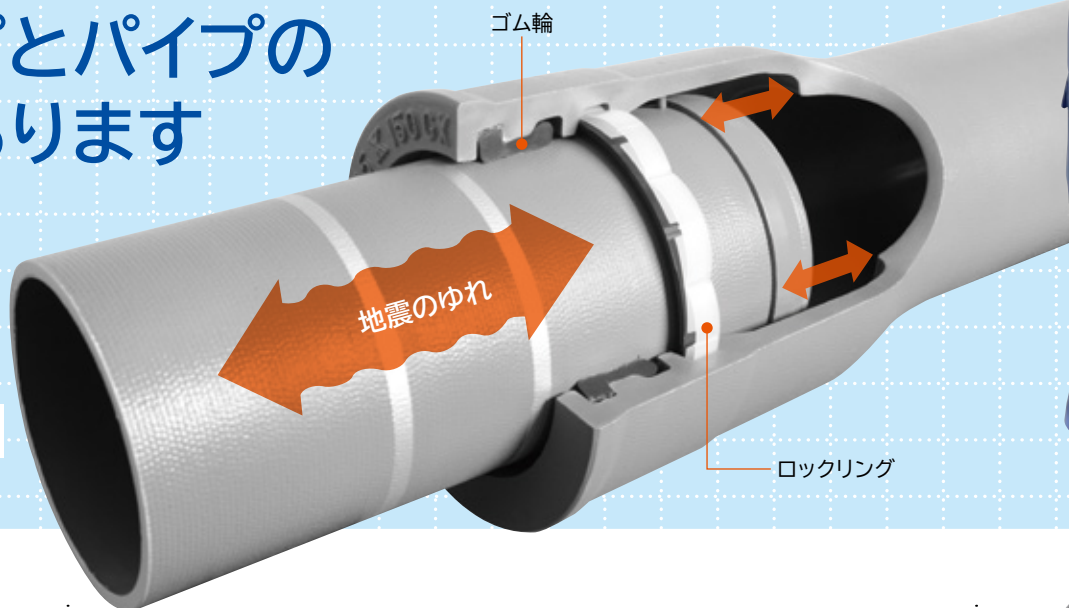
かなぼけっと 水道

検索

震災でも 外れなかった 「耐震継手管」

カギはパイプとパイプの
“つなぎ”にあります

耐震継手管のしくみ



現在でも、県営水道は高度な災害時対応ができます。でも、未来に備えて老朽管の交換を進めています。



東日本大震災の揺れにも 外れなかった水道管へ

県営水道は、強度的に弱い材質とされる昭和46年(1971)以前に敷設した鋳鉄製の管から、東日本大震災などの大規模地震でも被害のなかった「耐震継手管」への更新を進めています。

大規模地震発生時に漏水が起きてしまうのは、揺れによって水道管の継手が外れてしまうことが大きな要因でした。「耐震継手管」は継手が鎖構造になっており、管が伸び縮みしながら揺れを吸収するため、水道管の抜け出しを防ぐことができます。さらに、粘りがある強い材質でできているため、阪神・淡路大震災や東日本大震災で

も、漏水被害は発生していません。

近年では、水道管の外表面塗装の耐食性向上により、長寿命化が図られることからライフサイクルコストの削減も期待できます。



平成55年(2043)を ゴールに、県内各地で 着々と水道管の耐震化は 積み重ねられています

水道管の耐震化へ向けた工事は、長期的な計画目標をもとに県内各地で進められています。水道管の位置

や埋まっている深さ、経過年数などを「管路情報システム」で管理しており、これらの情報を元に工事を行います。平成30年度(2018)の災害拠点病院への水道管の耐震化完了後の目標としては、医療施設や主要駅、避難場所などの人が多く集まる場所への水道管の耐震化を、平成45年度(2033)までに完了させることとしています。さらに、平成55年度(2043)までには、浄水場から配水池間などの基幹的な水道管の耐震化を目指しています。

この耐震化目標を達成し、神奈川県内での発生が懸念される大規模地

震に備えることで、水道水の安定的な供給に大きく貢献することができます。そのために、職員が努力し、工事関係者や関係機関と力を合わせ、全力で取り組んでいきたいと思ひます。

工事に伴う道路の通行止めや騒音の発生など、ご迷惑をおかけしてしまう場合がありますが、お客さまのご協力のもと、もっともっと地震に強い県営水道を造るため、温かく見守っていただければと思います。



自分の身は
自分で守る!



1人1日3リットル
3日分の水をキープ



飲料水の備蓄

飲料水のくみ置きは、1人1日3リットル3日分の確保が目安です。

ご家庭、職場でも飲料水の備蓄をお願いします。

ポリ容器などに水道水をくみ置きする時には、次のことに注意してください。

なお、保存した水を飲用するときは必ず煮沸してください。

①密封性のよい容器を選び、中をよく洗います。

②容器に空気が残らないよう、容器の口までいっぱい水道水を入れて、しっかり密閉します。

③日の当たらない涼しい場所で保管します。

④保管した水は、4日(夏季)~10日(冬季)程度を目安に、洗濯や掃除に利用するなど交換します。ただし、浄水器を通した水の場合、塩素による消毒効果がないため毎日交換してください。

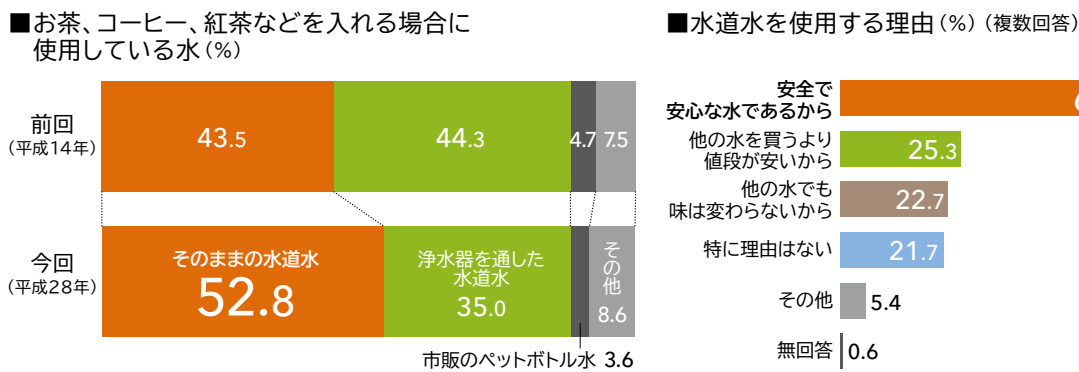
※飲料水とは別に、お風呂などに水を溜めておくとき水洗トイレを流すときにも便利です。

お客さま意識調査・事業所調査の結果について

県営水道では、今後の事業運営の基礎資料として活用するために、平成28年11月に個人と事業所のお客さまを対象に標記の調査を実施しましたところ、2,975人のお客さまと640の事業所からご回答を頂きました。ご協力いただきありがとうございました。調査結果の概要をご紹介します。詳しくは、ホームページの報告書をご覧ください。 **神奈川県 水道 意識調査** **検索** 問合せ先 県企業庁経営課経営企画グループ TEL:045-210-7219

■主な調査結果

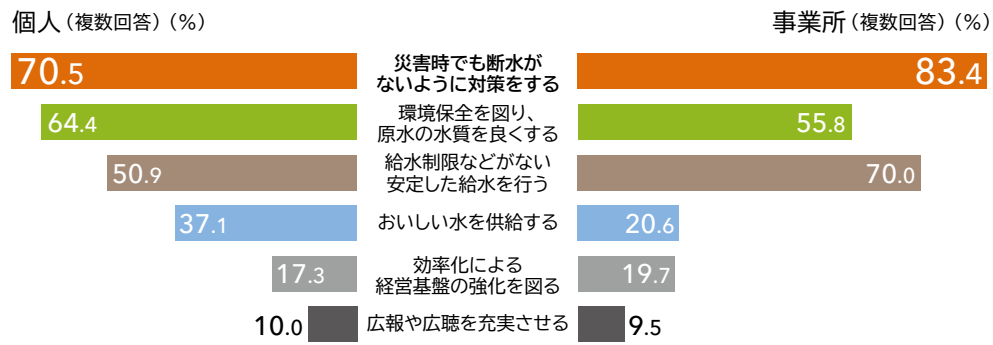
1 水道水の使用状況（※個人のみ設問）
自宅で「そのままの水道水」を使用している人が増加しました。
最も多かった理由は「安全で安心な水であるから」でした。



2 水道管の老朽化による更新の必要性の認知度
老朽化した水道管を更新する必要性の認知度は8割を超え、今後も9割程度の方に更新を進めていくことが希望されています。



3 県営水道が今後力を入れるべき事業
地震などの災害時でも断水が起きないように取組や、濁水等にも影響されない安定給水が望まれています。

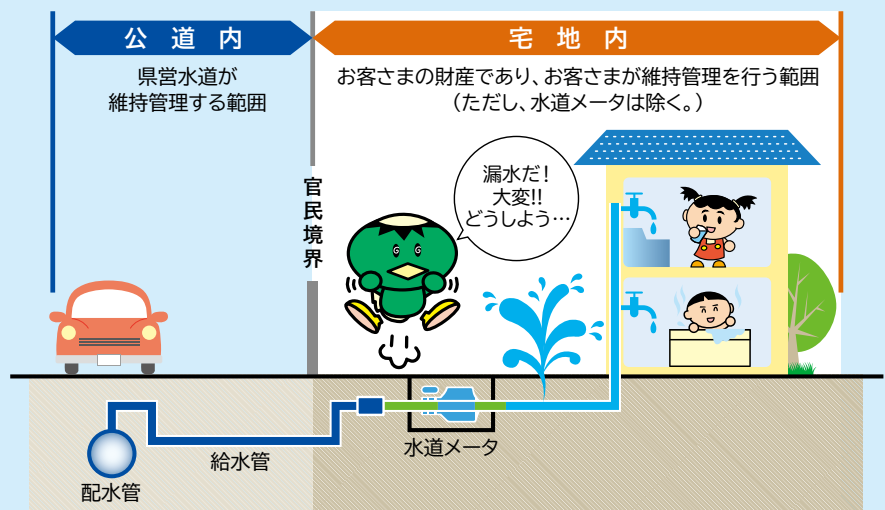


宅地内老朽給水管の取替えのすすめ

古くなった給水管は漏水が起きやすく、その中でも特に昭和50年代まで多く施工されていた鉛製給水管やポリエチレン製給水管の漏水が多く発生しています。

公道内の給水管は、県営水道が維持管理し、配水管の取替工事等にあわせて取替を行っています。宅地内の給水管は、お客様の財産であるため維持管理はお客さまの負担で行っていただくことになっています。

家の建替え等に伴って宅地内の水道工事を行う際には、古くなった給水管の取替えをお考えくださるようお願いいたします。



具体的補強方法としては、コンクリートや鉄筋で壁や床を厚くしたり、柱を太くする工法や、引っ張り強い炭素繊維を壁などに貼り付ける工法などがあります。これらの工法を組み合わせて、それぞれの配水池に最も適した補強方法を選択しています。



配水池内の柱を鉄筋で補強した様子（この後、コンクリートを打設して補強工事の完成）

今回も、前回に引き続き配水池の耐震化工事についてご紹介します。

配水池の耐震化工事では、耐震診断の結果を踏まえて補強方法を決定していますが、平成27年（2015）5月に県の「想定地震動」が見直されたため、給水区域内で想定される最大地震動が変更となった地域があり、耐震診断結果の再評価を行いました。これにより、より大きな揺れに対しても耐えられるよう補強方法を見直しました。

具体的な補強方法としては、コンクリートや鉄筋で壁や床を厚くしたり、柱を太くする工法や、引っ張り強い炭素繊維を壁などに貼り付ける工法などがあります。これらの工法を組み合わせて、それぞれの配水池に最も適した補強方法を選択しています。

お客さまの毎日の生活に欠かせない水を大規模地震などの災害時にも安定供給できるように、飲料水を確保する役割を持つ配水池の耐震化について、平成39年度（2027）までに完了させることを目標に、工事を着実に進めていきます。

水道施設の耐震化④ 配水池の耐震化工事

22世紀につながるインフラをめざして

水道 100歳 時代

▲写真：水道管を運ぶ様子（昭和初期、湘南地方）

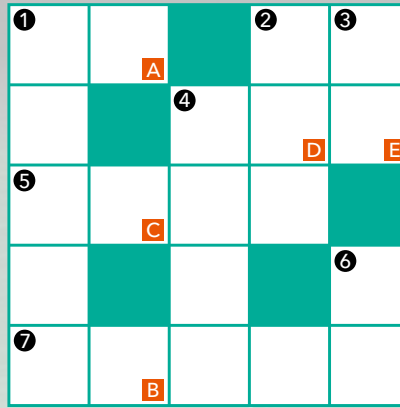
SUMMER CROSSWORD PUZZLE

クロスワードパズル



平成24年度「水のある風景」写真コンテスト入賞作品(撮影:住村清治さん)

クロスワードを全部解いてください。
次にAからEの文字を順に並べてできる言葉を答えてご応募ください。



応募方法

はがきのあて名面の裏に①クイズのこたえ、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤年齢(10代、20代等と記載してください。)、⑥電話番号、⑦広報紙で一番興味を持った記事をご記入の上、次のあて先へお送りください。※回答者の中から、抽選で30名様に県営水道水缶「箱根湧水 水土野(みどの)の水 水ノススメ。」(1箱24本入り)を、20名様に県営水道オリジナルグッズをプレゼントいたします。なお、当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。前号(6月号)の答えは「ツナガルダム」でした。2,316通ものご応募をいただきありがとうございます。



あて先

〒231-8588 (住所は省略できます。)
県企業庁経営課管理広報グループ
プレゼントコーナー係

締切

平成29年9月11日(月)
(当日消印有効)

→ ヨコのカギ

- ① 布や紙などで作り、主に竿に付けて掲げるもの、「〇〇を揚げる」、「〇〇振り」
- ② 十干と十二支とを組み合わせたもの、今年は丁酉
- ④ 口の中の物を飲み下すこと
- ⑤ 箱根町にある湖
- ⑦ 願いがかなったお礼に社寺などに参拝すること

↓ タテのカギ

- ① 雪・月・花の形にして炒り上げ、味をつけたあられ
- ② 塩水をたたえる湖、死海が有名
- ③ 河を渡ること
- ④ 藤沢市にある湘南海岸から相模湾へと突き出た陸繋島
- ⑥ 自己の乱れた衣服や姿勢を整えること、「〇〇を正す」

TOPICS 1

神奈川県ホームページ上の「かなチャンTV」内に、企業庁の広報映像が見られる「みてみて企業庁ch」を開設していますので、ぜひご覧ください。

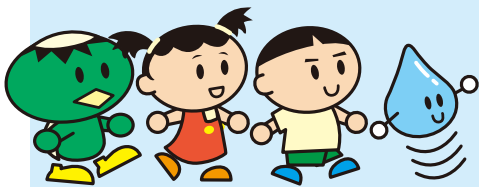


TOPICS 2

カッピーとダムエレキくん(ダム・発電のキャラクター)のLINEスタンプを好評発売中です。下記URLよりご購入ください。
<https://store.line.me/stickershop/product/1409533/ja>



各種お問い合わせ



かながわの水がめの貯水状況

相模川上流域の今年1月から7月までの雨量は平年の半分程度という状況になり、特に、梅雨期の雨量は昭和40年の観測開始以来最少レベルでした。

水は限りある資源です。大切に使いましょう。

かながわの水がめである相模川水系と酒匂川水系の貯水状況は、企業庁ウェブサイト毎日更新していますので、ご覧になってください。

かながわの水がめ 検索

漏水の通報にご協力ください

道路など地面から水が出ているのを発見したときは、お近くの水道営業所までご連絡ください。

水道営業所

相模原水道営業所	☎ 042-755-1132
相模原南水道営業所	☎ 042-745-1111
津久井水道営業所	☎ 042-784-4822
鎌倉水道営業所	☎ 0467-22-6200
藤沢水道営業所	☎ 0466-27-1211
茅ヶ崎水道営業所	☎ 0467-52-6151
平塚水道営業所	☎ 0463-22-2711
厚木水道営業所	☎ 046-224-1111
海老名水道営業所	☎ 046-234-4111
大和水道営業所	☎ 046-261-3256
箱根水道センター	☎ 0460-82-4306

道路などの漏水調査

水道管の水漏れの調査を民間委託しています。調査員は、腕章を着用し顔写真入りの業務委託従事者証明書を携行しており、**調査に関してお客さまに費用を請求することはありません。**ご不審な点がございましたら、お近くの水道営業所へお問い合わせください。

県営水道へのご意見、ご要望をお寄せください

〒231-8588 (住所は省略できます。)
県企業庁総務室「お客さまの声」係へ
FAX 045-210-8900

ホームページでも受付けています
神奈川県 お客さまの声 検索

神奈川県営水道 お客さまコールセンター

県営水道給水区域内の引越し手続き(転出、転入、口座振替・クレジットカード払いの継続)が一度で完了します。(水道の使用開始・休止、一般的なお問合せなど)

ナビダイヤル ☎ **0570-005959**

受付: 月~土曜日/午前8時30分~午後7時
※日曜・祝日及び年末年始(12/29~1/3)を除く

FAX (FAXナビダイヤル) **0570-014032**

※ナビダイヤル・FAXナビダイヤルでの通話は、通話料金がかかります。

詳細は、ホームページをご覧ください。

県営水道 コールセンター 検索

お引越しが決まったら、必ず連絡をください!



紙面に記載している問合せ先のほか 広報紙『さがみの水』に関するお問い合わせは

県企業庁経営課管理広報グループ
TEL **045-210-7215** へ
お問い合わせください。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

【編集・発行】神奈川県企業庁経営課 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 ☎045-210-7215 <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f27/>
広報紙「さがみの水」は、新聞折込でお届けしていますが、水道営業所、県営水道給水区域内の市町の窓口や郵便局などにも置いてあります。
●個人情報の保護について/ご応募いただきました個人情報は厳重に管理し、応募者の同意なしに第三者に開示・提供することはありません。

森の恵みをあなたのもとへ
神奈川県営水道

